

各 位

公益財団法人 大同生命国際文化基金

**翻訳出版事業「アジアの現代文芸」シリーズ  
の新刊と既刊の電子書籍化について**

公益財団法人 大同生命国際文化基金（大阪市西区江戸堀1-2-1 理事長：喜田哲弘）が公益事業の一つとして行っております翻訳出版事業「アジアの現代文芸」シリーズの新刊と既刊の電子書籍化について、以下のとおりお知らせします。

電子書籍化事業は平成24年度に開始し、平成25年10月までに18点の作品を電子書籍化しました。

記

**1. 新刊「ベンガル詩選集『もうひとつの夢』」について**

「ベンガル詩選集『もうひとつの夢』」を丹羽京子氏の翻訳により、紙の書籍および電子書籍として出版いたしました。

これは「アジアの現代文芸」シリーズの61冊目にあたり、インドとしては8冊目の作品になります。

本書は、現代ベンガル詩を代表する詩人7人(ジボナノンド・ダーシュ、ブッドデブ・ボシュ、シュバシュ・ムコッパダエ、シヨンコ・ゴーシュ、ショクティ・チョットパダエ、ビノエ・モジュムダル、ジョエ・ゴーシャミ)の作品98編を収録しています。

ベンガルは、1913年にノーベル文学賞を受賞したタゴールが詩聖として世界中に広く知られているように、「詩の国」とも呼ばれています。

一方、宗教的対立がもとで、現在はインドとバングラデシュに分断され、歴史・民族・宗教的に複雑な事情を抱えている地域でもあります。

タゴール亡き後、インド・パキタンの分離独立とその後の混乱の時代を生き抜き、タゴールを超えようとした詩人たちの多彩で豊穡な詩の世界を味わっていただければ幸いです。

**2. 電子書籍化について**

併せて、新たに既刊5作品を電子書籍化しました(既刊5作品の作品紹介は4ページ参照)。

今回電子書籍化した作品中『地獄の一三六六日』(カンボジア)は、平成19年の『第43回日本翻訳出版文化賞』(日本翻訳家協会)を受賞しております。

電子書籍として無償公開している作品は平成24年度に公開した12作品とあわせ18作品となり、当財団ホームページ(<http://www.daido-life-fd.or.jp/>)上の「アジアの現代文芸電子図書館」からご覧になることができます。

【新たに電子書籍化した6作品】

	作品名(国名)	翻訳出版時期	著者	翻訳者
既刊	①地、水そして花(タイ)	1991年 7月	サクチャイ・バムルンポン	吉岡 みね子
	②愛のかたみ (インドネシア)	2002年10月	ヤティ・マルヤティ・ ウィハルジャ	山根 しのぶ
	③地獄の一三六六日 (カンボジア)	2007年 2月	オム・ソンバット	岡田 知子
	④罪との闘い(タイ)	2008年11月	シーブーラパー	宇戸 清治
新刊	⑤ウダイ・プラカーシ選集 (インド)	2011年12月	ウダイ・プラカーシ	石田 英明
	⑥ベンガル詩選集 『もうひとつの夢』(インド)	2013年10月	ジボナノンド・ダーシュ 他	丹羽 京子

【これまでに電子書籍化した12作品】

	作品名(国名)	翻訳出版時期	著者	翻訳者
	①業の罟(タイ)	1986年 3月	ドゥアンチャイ	吉岡 みね子
	②チャオプラヤー河の流れ (タイ)	1987年11月	サティエン・ チャンティマートーン	吉岡 みね子
	③ミャンマー現代短編集1 (ミャンマー)	1995年 2月	マウン・ターヤ他	南田 みどり
	④ミャンマー現代短編集2 (ミャンマー)	1998年 9月	マウン・ティンスン他	南田 みどり
	⑤農園の日差し(ベトナム)	2000年 9月	タック・ラム	川口 健一
	⑥敗者の勝利(タイ)	2004年12月	セーニー・サオワポン	吉岡 みね子
	⑦山の麓の老人 (マレーシア)	2005年 3月	アジジ・ハジ・ アブドゥラ	藤村祐子、タイ バ・スライマン
	⑧ビールーの少年時代 (インド)	2006年11月	クリシュナ・ バルデーオ・ヴァイド	長崎 広子
	⑨幻想の国(タイ)	2009年 9月	M.R. ニミットモンコン・ ナワラット	吉岡 みね子
	⑩変革の時代(スリランカ)	2011年10月	マーティン・ ウィクラマシンハ	野口 忠司
	⑪時の終焉(スリランカ)	2012年 9月	マーティン・ ウィクラマシンハ	野口 忠司
	⑫現代タイのポストモダン 短編集(タイ)	2012年12月	プラープダー・ユン他	宇戸 清治

## ＜参考＞

### 「アジアの現代文芸」シリーズについて

アジア諸国の現代文芸のうち、わが国への紹介が望まれる作品を翻訳・出版する事業で、アジアの国々の今日の姿をそれぞれの国が生んだ文芸作品を通じて理解することを目的としています。

本事業は営利を目的とせず、財団自らの手で翻訳・出版にあたるもので、企業財団として他に例のない事業として取り組んできましたが、作品(出版部数2, 500部)は全国の大学、国公立図書館等に寄贈し、市販を一切行っていないことから、図書館に行かない限り手に取って読んでいただくことはできませんでした。

そこで、25年以上をかけて翻訳・出版してきた12ヵ国、61点の作品(平成25年10月現在)を、より多くの文学ファンの方に読んでいただけるよう、大同生命創業110周年記念事業の一環として、平成24年度から紙の書籍の出版と並行して、既刊・新刊の電子書籍化を進めております。

### ＜国別出版作品数＞

国名	出版作品数
インド	8点
インドネシア	5点
カンボジア	2点
スリランカ	3点
タイ	16点
パキスタン	9点
バングラデシュ	2点
フィリピン	1点
ベトナム	3点
マレーシア	4点
ミャンマー	7点
ラオス	1点
計	61点

照会先：公益財団法人大同生命国際文化基金 事務局（北迫）  
電話 06 (6447) 6357 / Fax 06 (6447) 6384

---

**(1) 「地、水そして花」(タイ)**

タイ文学の重鎮であり、1990年に国民芸術家賞(タイ国教育省)を受賞したサクチャイ・バムルンポン(1918-)の長年の文芸活動を集大成した作品です。

本書は、第二次世界大戦の終結から40年余、当時「自由タイ」運動に加わった一市民の体験を回顧して生まれた作品です。太平洋戦争という大きな歴史の荒波に翻弄された人間の運命を描いています。著者は元外交官であるだけに、史実を追う目は鋭く、かつ正確です。特に、連合軍作戦としての海外秘密部隊の一環として遂行された「自由タイ」の活動を、末端グループの動きに焦点を絞って描いています。現代史の証言が織り込まれた本書を通して、第二次世界大戦下のタイの歴史はもとより、日タイ関係の歴史、そして世界情勢を知ることができます。(原作発表年 1990年)

---

**(2) 「愛のかたみ」(インドネシア)**

本書は12の短編からなります。親子、夫婦、恋人、愛人などが、日々の営みの中で愛の悦び、愛の切なさを心に秘めながら、ひたすらに生きていく姿が、著者の優しい眼差しでしっかりと捉えられ、描かれています。国家、民族、宗教、風俗その他諸々の条件が異なっても、人間の心の深さや温かさは変わらないということを、あらためて感じさせる作品群です。(原作発表年 1986年)

著者のヤティ・マルヤティ・ウィハルジャ(1943-1985)は42歳の生涯を終えるまでに30編におよぶ長編小説と多くの短編小説を遺しています。

---

**(3) 「地獄の一三六六日」(カンボジア) —「第43回日本翻訳出版文化賞」受賞作品—**

本書は著者オム・ソンバット(1951-)自身のポル・ポト時代(1975-1979)の体験を生々しく、かつ、客観的に記述した記録文学ともいえるものです。著者は職業作家ではありませんが、ストーリーの展開や描写などが極めてよくまとめられています。1970年代後半のこのカンボジアの出来事を知ることで、人間の狂気、極限状態での家族愛、生死の意味、平和の重要性などをあらためて考えさせられる作品です。(原作発表年 1999年)

---

**(4) 「罪との闘い」(タイ)**

タイの国民作家・タイ近代文学の父として親しまれているシーブーラーパー(1905-1974)の長編小説2編と短編小説1編を収録した小説集です。いずれの作品も、社会的不正に目覚め、タイ社会の変革のために闘う意志を誇示する民衆の姿を描いています。シーブーラーパーはジャーナリストとして、民衆の啓発活動に挺身した人でもありました。彼は虐げられた労働者や農民への熱い共感と社会変革の志を持ち続け、実践政治とは距離を置いた文筆家として、小説を発表し続けた知識人でした。本書に収められた作品にも、リベラル派としての著者の考えが綴られています。(原作発表年 1934~1952年)

---

**(5) 「ウダイ・プラカーシ選集」(インド)**

現代ヒンディー文学を代表する作家ウダイ・プラカーシ(1952-)の日本で初めての作品集です。

収められた作品はいずれも、己の人生を懸命に生きようとしながらも、過酷で複雑な現代社会に適応しきれず、空しく力尽きていく主人公の姿を鋭く描き出しています。その一方で、人の営みを愚かしさをふくめて丸ごと描き出そうとする作家の、人の生きる姿に対する温かい眼差しを感じさせるものとなっています。(原作発表年 1989~1996年)